

WAKOワイヤー支柱

W型＝高・中木用

- 特徴
- 優れた耐久性で風雨や積雪による継続荷重にも耐えます。
 - 自然にフィットするデザインで景観をそこいません。
 - 工事が簡単で施工後の保守管理も容易です。
 - 永年の経験と技術により高い安全性を確保します。
 - 豊富な品揃えにより様々な樹木に対応します。



ワイヤー支柱（W型） 樹高別仕様一覧

樹高の目安（参考）	仕様（型式）	品名（部材）	規格	数量（組）
樹高5m以下	W-SA	ワコーアンカー	1号	3本
		被覆ワイヤーロープ	3mm	15m
		ワイヤークリップ	FR-6	6個
		トリীগリップ	3mm	3本
		ターンバックル	PS3／8×150E／J	3本
		樹幹保護材	内径12mm	1m
樹高6m	W-A	ワコーアンカー	2号	3本
		被覆ワイヤーロープ	6mm	18m
		ワイヤークリップ	FR-8	6個
		トリীগリップ	6mm	3本
		ターンバックル	PS3／8×300E／J	3本
		樹幹保護材	内径12mm	1m
樹高7m	W-B	ワコーアンカー	3号	3本
		被覆ワイヤーロープ	6mm	20m
		ワイヤークリップ	FR-8	6個
		トリীগリップ	6mm	3本
		ターンバックル	PS3／8×300E／J	3本
		樹幹保護材	内径12mm	1.5m
樹高8m	W-C	ワコーアンカー	4号	3本
		被覆ワイヤーロープ	9mm	24m
		ワイヤークリップ	FR-12	6個
		トリীগリップ	9mm	3本
		ターンバックル	PS1／2×300E／J	3本
		樹幹保護材	内径15mm	2.5m
樹高9m	W-D	ワコーアンカー	5号	3本
		被覆ワイヤーロープ	9mm	27m
		ワイヤークリップ	FR-12	6個
		トリীগリップ	9mm	3本
		ターンバックル	PS1／2×300E／J	3本
		樹幹保護材	内径15mm	2.5m
樹高10m	W-E	ワコーアンカー	6号	3本
		被覆ワイヤーロープ	12mm	33m
		ワイヤークリップ	FR-14	6個
		トリীগリップ	12mm	3本
		ターンバックル	PS5／8×450E／J	3本
		樹幹保護材	内径19mm	3m
樹高12m	W-F	ワコーアンカー	6号	3本
		被覆ワイヤーロープ	12mm	39m
		ワイヤークリップ	FR-14	6個
		トリীগリップ	12mm	3本
		ターンバックル	PS5／8×450E／J	3本
		樹幹保護材	内径19mm	3m
樹高14m	W-G	ワコーアンカー	6号	3本
		被覆ワイヤーロープ	12mm	46m
		ワイヤークリップ	FR-14	6個
		トリীগリップ	12mm	3本
		ターンバックル	PS5／8×450E／J	3本
		樹幹保護材	内径19mm	3m
樹高20m	W-H	ワコーアンカー	6号	4本
		被覆ワイヤーロープ	12mm	88m
		ワイヤークリップ	FR-14	8個
		トリীগリップ	12mm	4本
		ターンバックル	PS5／8×450E／J	4本
		樹幹保護材	内径19mm	4m

優れた耐久性

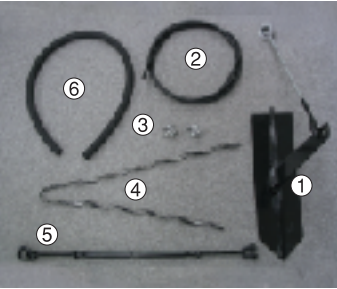
ワコーアンカー標準耐張力

アンカー規格	標準耐張力 Kg／アンカー		
	硬い地盤	普通地盤	軟弱地盤
1号	1,000	500	300
2号	1,500	1,000	700
3号	2,500	1,600	1,200
4号	3,200	2,000	1,600
5号	4,500	2,500	2,000
6号	6,500	4,500	3,000

硬い地盤＝地下水が十分に低く、抵抗力の大きい地盤。
普通地盤＝多少の湧水があるが比較的抵抗力の大きい地盤。関東ローム層など。
軟弱地盤＝地下水が高く、抵抗力が小さい地盤。盛土、埋立地など。
(当社試験データによる)

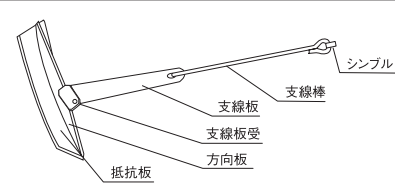
信頼の品質

部 材

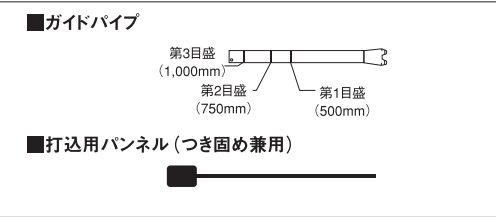


- ①ワコーアンカー
- ②被覆ワイヤーロープ
- ③ワイヤークリップ
- ④トリীগリップ
- ⑤ターンバックル
- ⑥樹幹保護材

ワコーアンカー構造図

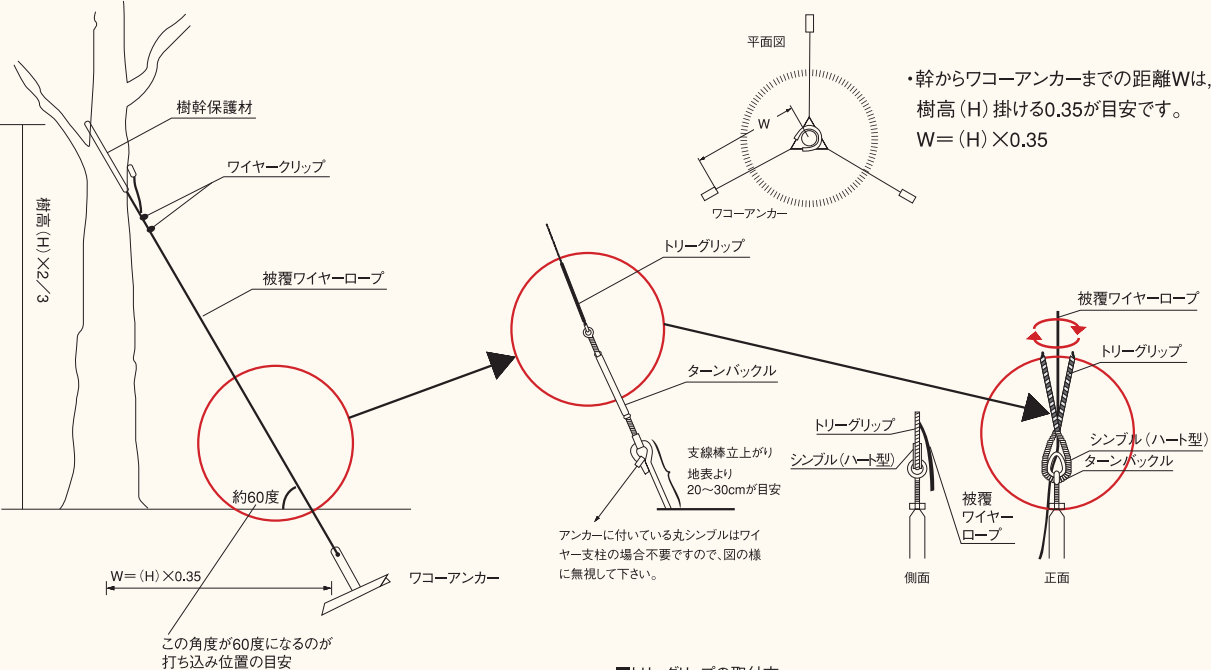


ワコーアンカー専用打込工具（別売）



自然にフィット

標準取付図



■トリীগリップの取付方
ターンバックルに付いている、ハート形シンブルにトリীগリップを通し、被覆ワイヤーロープをトリীগリップの溝にはめ込む様に巻き付けて下さい。（その際、根元部分から上の方に巻き付けて下さい。）長さは左右同じではありません。短い方から巻き付けると、端末処理が楽です。

簡単施工

施工手順



アンカー用の穴を掘り、抵抗板の後端部をパネルでたたいて打ち込みます。（アンカー施工方法も合わせて参照して下さい。）



抵抗板が打ち込めなくなりましたら、専用打込み工具のガイドパイプを嵌め込み、目盛りのある所まで再度打ち込みます。



打ち込み終了後ガイドパイプを抜き取り、支線棒の地際を掘削し、方向を調整した状態で露出させ土を埋め戻し、しっかりとつき固めます。



ワイヤーロープに樹幹保護材を通して樹木に掛け、ワイヤークリップを2箇所仮止めます。ラチェットレンチでワイヤークリップを締めつけます。



ワイヤーロープ設置完了。（高木の場合は、樹木を寝かせた状態で先にワイヤーロープを取り付けておくと施工が楽です。）



ターンバックルを支線棒に接続します。トリীগリップをターンバックルのシンブルに通し、ワイヤーロープを引き寄せます。

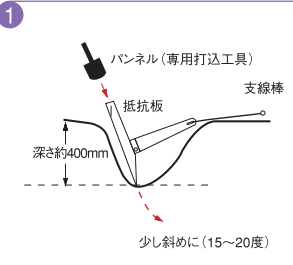


トリীগリップを螺旋状に巻き付けワイヤーロープを固定します。（上図のトリীগリップの取付方も合わせて参照してください。）



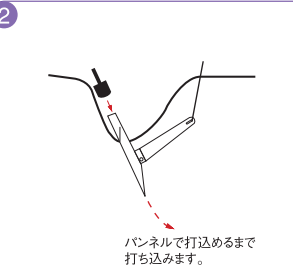
最後にターンバックルを締めて、ワイヤーロープがしっかりと張るように調整し、ターンバックルの戻り止めナットを締めつけて完了。（全体の据え付け状態を再確認して下さい。）

ワコーアンカー施工方法

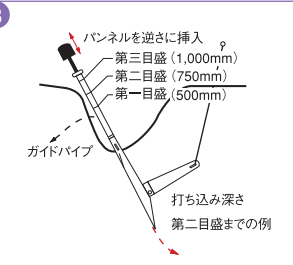


アンカーの打ち込み位置は上図の標準取付図を参照して下さい。

※適正な施工方法が実施されない場合、所定の耐張力が保持できない場合がありますのでご注意ください。

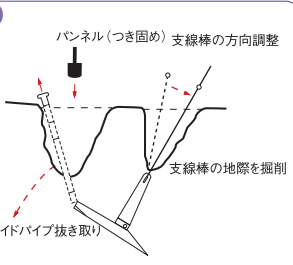


アンカーの打ち込み位置は上図の標準取付図を参照して下さい。



アンカーの打ち込み位置は上図の標準取付図を参照して下さい。

打込深さの目安
普通地盤＝第三目盛まで
硬い地盤＝第二目盛まで（但し、1号・2号アンカーは第一から第二目盛まで）



アンカーの打ち込み位置は上図の標準取付図を参照して下さい。